

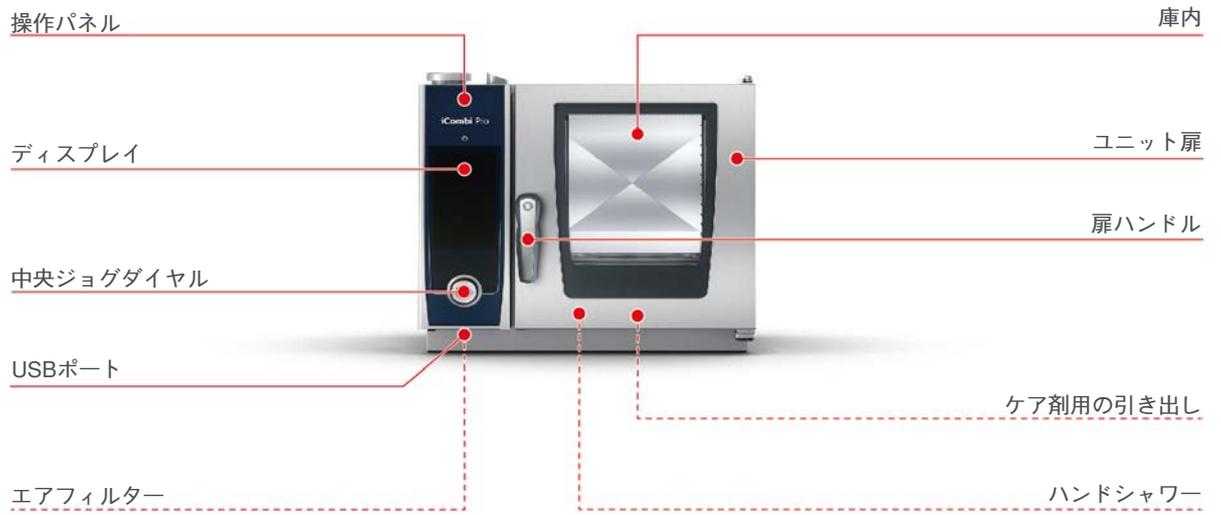
iCombi® Pro

オリジナル取扱説明書

基本操作



2 iCombi Pro



4 ユニットの使用方法

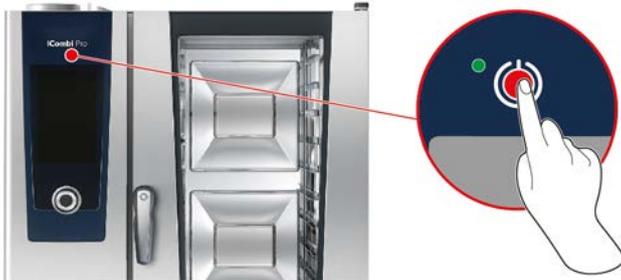
4.1 初回の運転

ユニットを最初に運転するときには、ユニットは既にRATIONAL認定サービスパートナーによって正しく設置されているものとします。セルフテストがすでに実行されており、ユニットは操作準備完了であるものとします。設置に関するすべての情報は、同梱の設置マニュアルに記載されています。

ユニットで初めて作業する前に

1. ユニットの初回運転する前に、ユニットとアクセサリを洗浄してください。
詳細はこちら： ケア [▶ 87]

4.2 ユニットのオン/オフ



ユニットをオンにする

1. ユニットのオンにするには、以下のボタンを押して、LEDが緑になるまで押したままにしてください。⏻
> ユニットが起動します。スタート画面 [▶ 15]が表示されます。

給水接続なしでの稼働

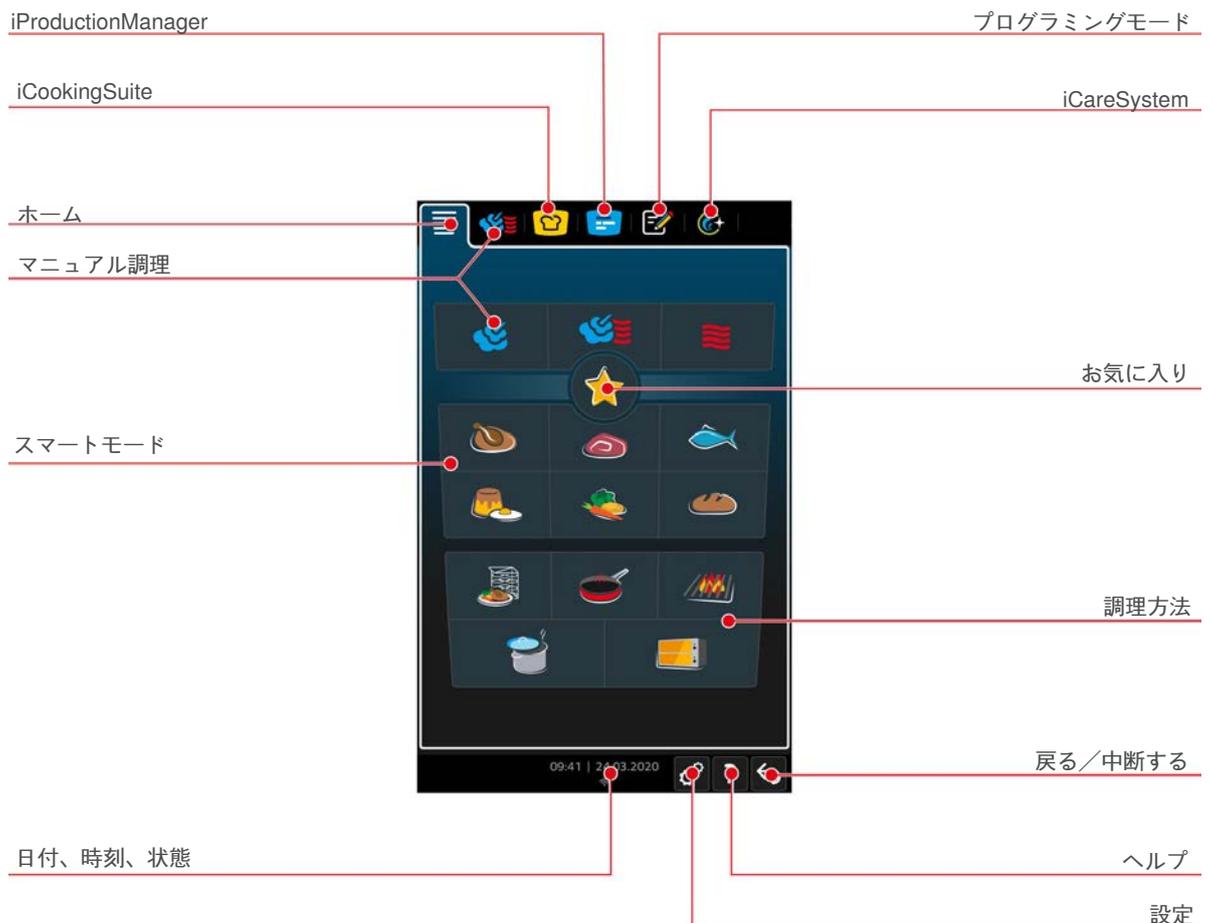
給水接続を用いずにユニットを稼働する場合は、3リットルの水を庫内に注ぐよう、すぐに求められます。フッターに次のアイコンが表示されます。💧

1. 3リットルの水を庫内の底に注いでください。
2. アクションを確認するには、以下のボタンを押してください。✔

ユニットをオフにする

1. ユニットのオフにするには、以下のボタンを押して、LEDがオレンジになるまで押したままにしてください。⏻
> ユニットの本当にオフにするか尋ねられます。
2. ユニットのオフにするには、バーを右にスワイプします。
>> ユニットがオフになります。

4.3 スタート画面



- iProductionManager [▶ 46]
- インテリジェントな調理 - iCookingSuite [▶ 22]
- ホーム
このボタンを押すと、スタート画面になります。
- マニュアルモード [▶ 38]
- お気に入り [▶ 15]
- インテリジェント操作モード [▶ 22]
これらのボタンのいずれかを押すと、インテリジェントなモードに属するすべてのインテリジェントな調理パスが表示されます。
- 調理方法
このボタンを押すと、調理方法に属するすべてのインテリジェントな調理パスが表示されます。
- プログラミングモード [▶ 56]
- 自動洗浄 - iCareSystem [▶ 83]
- 日付、時刻、状態 [▶ 16]
- 設定 [▶ 63]
- ユニットに搭載のヘルプ [▶ 91]
- 戻る／中断する
このボタンを押すと、前の画面に戻ります。このボタンを押したままにすると、調理過程が中断されます。

4.3.1 お気に入り

特に頻繁に使用するスマートな調理パスとプログラムは、お気に入りとして保存し、スタート画面から呼び出すことができます。例えば、季節のメニューの料理に特にすばやくアクセスすることが可能になります。



1. iCookingSuiteまたはプログラミングモードで、お気に入りとして保存したい調理パスまたはプログラムを選択します。
 2. ボタンを押してください。...これは選択した調理パスとプログラムの隣にあります。
 3. ボタンを押してください。★
- >> お気に入りとして保存された調理パスとプログラムがすべて表示されます。

4.3.2 日付、時刻、状態

フッターには、現在の日付と時刻、および以下のポートと接続のステータスが常に表示されます。



接続されているUSBスティック

このアイコンは、USBスティックまたはUSBアクセサリをユニットに接続したことを示します。



ネットワーク接続

このアイコンは、ユニットがLANネットワークに接続されていることを示します。ネットワークエラーがある場合、次のアイコンが表示されます。🚫



Wi-Fi接続

このアイコンは、ユニットがWi-Fi接続されていることを示します。接続状況は非常に良好です。

接続状況が悪くなると、以下のアイコンが表示されます。📶

接続エラーが生じると、以下のアイコンが表示されます。🚫



エラーメッセージ

このアイコンは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていることを示します。



ConnectedCookingの接続

このアイコンは、ユニットがConnectedCookingに接続されていることを示します。ユニットがConnectedCookingに接続されていない場合、以下のアイコンが表示されます。🚫



給水接続

このアイコンは、ユニットが給水接続に接続されていないことを示します。ユニットをオンにすると、3リットルの水を庫内に注ぐよう、すぐに求められます。

4.3.3 ユニットに搭載のヘルプ



ユニットに搭載のヘルプ

クエスチョンマークのアイコンを選択すると、ユニットに内蔵のヘルプが表示されます。ここではユニットの操作がデジタル形式で説明されます。ヘルプは現在の操作に応じて表示され、常に現在の画面内容に関するヘルプが表示されます。また、ヘルプ機能には各調理パスの詳細が記載されており、実用的かつラショナルによって実証済みの活用例が貴重なヒントとともに数多く掲載されています。

4.4 ユニットとの相互作用

注

ディスプレイの不適切な操作

先の尖ったものや鋭利なものを使って操作すると、ディスプレイが損傷を受けることがあります。

1. 操作には手のみ用いてください。

4.4.1 ジェスチャ

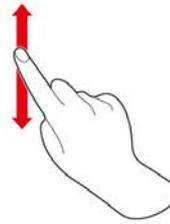
ユニットを、わずか数回の簡単なジェスチャで操作できます。



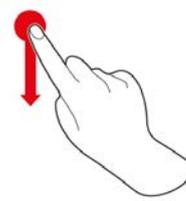
押す



スワイプ



スクロール



ドラッグ&ドロップ

4.4.2 中央ジョグダイヤル



ジェスチャ [▶ 17]の代わりに、中央ジョグダイヤルを回して設定を変更することも可能です。中央ジョグダイヤルを押して動作を確認してください。

4.5 最大投入量

注

過度の投入量によるユニットの損傷

最大投入量を超過すると、ユニットが損傷する可能性があります。

1. ここに表記されている最大投入量以上のものをユニットに投入しないでください。

型式	最大投入量 [kg]	最大積載量/ラック
XS 6-2/3	20 kg	10 kg

4.6 ユニット扉の開閉



ユニットの扉を開く

1. 扉のハンドルを右に回してください。
 2. ユニットに安全ドアロックが装備されている場合、ハンドルをまず左に、次に右に回してください。
 3. 扉はゆっくり開けてください。 **⚠注意！火傷の危険！** ユニットの稼働中は、熱い蒸気が一気に庫内から噴出することがあります。
- >> ファンホイールが停止します。

ユニットの扉を閉める

1. 扉をしっかり押してください。

4.7 ユニットに投入する

1. ユニット扉を開けてください。
> ファンのブレーキが作動して、ファンが停止します。
2. 食品をユニットに入れます。
3. グリルやローストの際には、食材から出てくる脂肪を受けるための容器を食品の下に配置します。
4. ユニットの扉を閉めてください。扉が完全に閉まり、扉のハンドルが垂直になっていることを確認してください。注！ ユニットの非通電時間あるいはオフにしていた時間が15分以内の場合は、進行中のプロセスは、中断した時点から続行されます。

トレイが1.60m以上の位置にある場合



最上段のラックの高さが床上1.60mになるようにユニットを設置した場合は、同梱の警告サインをこの箇所に貼る必要があります。

4.8 芯温センサーの挿入

次の節では、芯温センサーを利用した調理と、オプションで利用できる外付けUSB芯温センサーを利用した調理についてご説明します。真空調理用USB芯温センサーを用いると、真空調理バッグ内の真空状態を損なわずに、真空調理する食品の温度を監視できます。また、外付けUSB芯温センサーは、内部芯温センサー無しの装備バリエーションなどで使用可能です。

⚠ 注意

熱くなった芯温センサー

保護手袋を使用せずに、熱くなった芯温センサーに触れると、火傷をする恐れがあります。

1. 熱くなった芯温センサーを扱うときは常に保護手袋を着用してください。
2. 必要に応じて、ハンドシャワーで芯温センサーを冷却してください。

⚠ 注意

先の尖った芯温センサー

芯温センサーを気をつけて取り扱わないと、芯温センサーの鋭い先端部で怪我をする可能性があります。これは特に、真空調理用USB芯温センサーに当てはまります。

1. 熱くなった芯温センサーを扱うときは常に保護手袋を着用してください。
2. 使用後は、芯温センサーを庫内ラックの所定のホルダーに差し込んでください。

注

芯温センサーが庫内に掛けられたまま

使用後に芯温センサーを所定のホルダーにしまわしないと、芯温センサーが損傷することがあります。

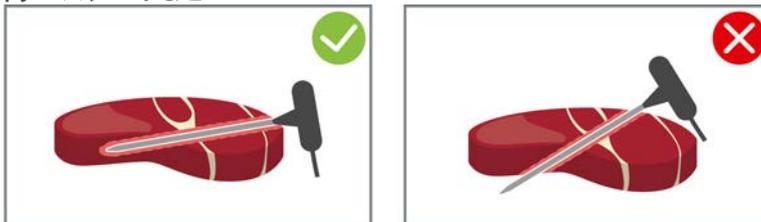
1. 使用後は、芯温センサーを庫内ラックの所定のホルダーに差し込んでください。



ヒント

- 非常に薄いまは液状の食品を定期的に調理する場合は、オプションの差し込み補助棒を使用することをお勧めします。まず芯温センサーを差し込み補助棒に挿入し、次に食品に挿入します。
- 芯温センサーの温度が設定芯温よりも高い場合は、ハンドシャワーで芯温センサーを冷却します。

肉 - ステーキなど

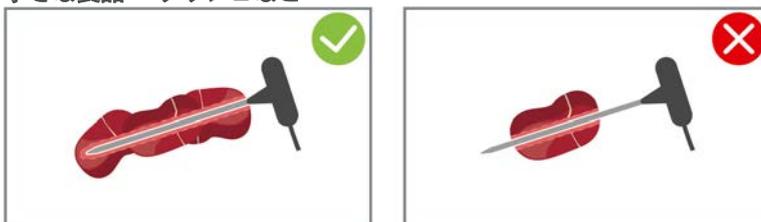


1. 芯温センサーが食品のなるべく奥まで挿入されるように、食品を芯温センサーのグリップまで差し込んでください。

かたまり肉 - ローストなど

1. 食品の最も厚い部分に、芯温センサーを、グリップまで差し込んでください。

小さな食品 - グラシュなど

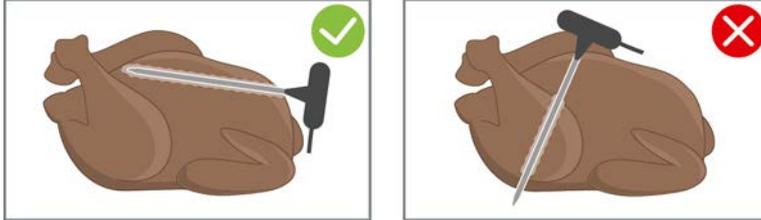


1. 芯温センサーのハンドル部分から先端まで食品が挿さっているように、芯温センサーを食品に挿します。

異なる大きさの食品

1. まず、食品のうちの小さいものに芯温センサーを差し込んでください。
2. 希望の芯温に達したら、小さいものを芯温センサーから外し、庫内から取り出します。
3. 次に、芯温センサーを食品の大きなものに差し、調理パスをオプション挿し直し  で続行します。

鶏（丸ごと）



1. 胸肉の最も厚い部分で、芯温センサーをグリップまで差し込みます。ただし、あばら骨の近くには差し込まないでください。

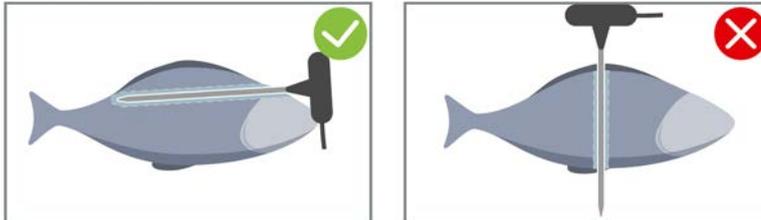
芯温センサーの先端が鶏の腹の空洞部分にないことを確認してください。芯温センサーはもも肉には挿さないでください。

魚の切り身



1. 芯温センサーが食品のなるべく奥まで挿入されるように、食品を芯温センサーのグリップまで差し込んでください。

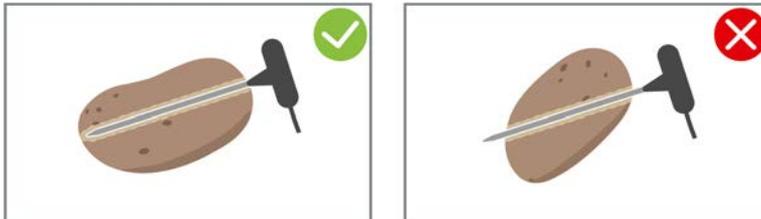
魚（尾頭付き）



1. 食品の最も厚い部分に、芯温センサーを、グリップまで差し込んでください。

芯温センサーの先端が魚の腹の空洞部分にないことを確認してください。

野菜 - ジャガイモなど



1. 食品の最も厚い部分に、芯温センサーを、グリップまで差し込んでください。

スープ、ソース、スイーツ

1. 芯温センサーが完全に液体に浸かっているように、芯温センサーをホテルパンに入れてください。
2. 液体を攪拌するときは、芯温センサーがGNホテルパンの中に入っていることを確認してください。

ベイク

1. 焼成中に膨張するベイクアイテムでは、芯温センサーを食品の中心に垂直に差し込みます。これに際してはオプションの差し込み補助棒をご利用ください。

芯温センサーが検出されない

✓ 以下のアイコンが表示されます。✖

1. この説明書に記載されているように芯温センサーをセットしてください。
2. 補正を確認してください。

>> 調理プロセスが正しく実行されます。補正を確認しないと、プロセスが中断され、再起動する必要となります。このようなエラーが発生しても続けて実行できる調理パスがいくつかあります（低温調理など）。

芯温センサーの取り出し

1. 料理が希望の仕上がりになったら、まず食品から芯温センサーを取り外します。
2. 芯温センサーを拭いてから所定のホルダーに挿入し、庫内から食品を取り出します。

4.9 ハンドシャワーの使用

ハンドシャワーを装備しないユニットオプションもご利用いただけます。

⚠ 注意

ハンドシャワーならびにハンドシャワーから出てくる湯は60℃以上の高温になることがあります。

熱くなった部分に触れたり、湯に触れたりすると、火傷するおそれがあります。

1. ハンドシャワーを扱うときは保護手袋を着用してください。

⚠ 注意**水道管内の細菌の発生**

ハンドシャワーを毎日使わない場合、給水管に雑菌が発生する可能性があります。

1. ハンドシャワーは朝と晩、水で約10秒すすいでください。

注**ハンドシャワーの不適切な取り扱い**

使用可能なホース最大長さを超えてハンドシャワーを引っ張ったり、ホースを持って引っ張ったりすると、ハンドシャワーの自動巻取システムが損傷する可能性があります。そうすると、ハンドシャワーを自動的にボディの内側に引き込むことができなくなります。

1. 使用可能なホースの最大長さ以上にハンドシャワーを引っ張らないでください。

注**ハンドシャワーは庫内を冷やすのには適していません。**

ハンドシャワーで庫内を冷却すると、庫内、エアバッファー、または扉のガラス板が損傷を受けることがあります。

1. 庫内の冷却にはクールダウン機能のみを用いてください。

1. ハンドシャワーを少なくとも20cmほど格納位置から引き出します。

2. ハンドシャワーのホースをしっかりと持ってください。

1. ハンドシャワーのレバーを押してください。レバーを強く押すと、水の噴射が強くなります。

2. 使用後は、ハンドシャワーをゆっくりと筐体内に戻します。⚠注意！ハンドシャワーのホースを収納場所に戻す前に、ホースが清潔であることを確認してください。

4.10 庫内ラックの取り出し

1. 右の庫内ラックの中央部分をつかんで、押し上げます。

2. 庫内ラックを外して、庫内から取り出します。

3. 左の庫内ラックを持ち上げて、庫内に向けて回します。

4. 庫内ラックを押し上げて、庫内から取り出します。

12 モードの変更

iCombi Proを用いると、マニュアル調理、iCookingSuite、iProductionManagerの各モード間でいつでも簡単に切り替えることができます。これで、作業の負担を軽減する自動化された調理知能と、場合に依りて必要となる制御オプションを最適に組み合わせて使用できます。

- iProductionManagerのチケットをマニュアルモードに変換することが可能です。
- iCookingSuiteのスマートな調理パスをiProductionManagerのスマートチケットに変換することが可能です。
- iCookingSuiteのスマートな調理パスをマニュアルモードに変換することが可能です。

チケットをマニュアルモードに変換する

✓ チケットを配置してある [▶ 49]。調理の進行中。

1. メニューバーで以下のボタンを押してください。 

> 本当にマニュアルモードに変更したいか尋ねられます。

2. **注！このアクションを実行すると、元に戻すことはできません。** ボタンを押してください。 ✓

>> チケットの調理パラメータが引き継がれ、マニュアルモードで表示されます。

インテリジェントな調理パスをインテリジェントなチケットに変換する

✓ スマートな調理パスを開始した。 [▶ 30]調理の進行中。

1. メニューバーで以下のボタンを押してください。 

> 本当にiProductionManagerに変更したいか尋ねられます。

2. **注！このアクションを実行すると、元に戻すことはできません。** ボタンを押してください。 ✓

>> スマートな調理パスがiProductionManagerに送信され、中央の段に表示されます。

インテリジェントな調理パスをマニュアルモードに変換する

✓ スマートな調理パスを開始した。 [▶ 30]調理の進行中。

1. メニューバーで以下のボタンを押してください。 

> 本当にマニュアルモードに変更したいか尋ねられます。

2. **注！このアクションを実行すると、元に戻すことはできません。** ボタンを押してください。 ✓

>> この時点で設定されたスマートな調理パスの調理パラメータが引き継がれ、マニュアルモードで表示されます。

13 設定



ユニットの出荷時設定は、ニーズにあわせて持続的に調整できます。

1. ボタンを押してください。 
- > すべての設定オプションの一覧が表示されます。
 - お気に入り [▶ 63]
 - 表示 [▶ 63]
 - 照明 [▶ 64]
 - 音 [▶ 65]
 - 調理システム [▶ 67]
 - 加熱 [▶ 68]
 - 洗浄 [▶ 70]
 - データ管理 [▶ 70]
 - ネットワーク設定 [▶ 73]
 - ユーザープロフィール [▶ 74]
 - サービス [▶ 77]
 - ConnectedCooking [▶ 77]

設定を変更するには、リストをスクロールして、希望のカテゴリを押します。各カテゴリには豊富な設定オプションが割り当てられており、これらはジェスチャ [▶ 17]または中央ジョグダイヤル [▶ 17]で変更できます。

13.1 お気に入り

お気に入りとして印をつけたすべての設定は「お気に入り」で表示されます。

1. 設定を選択してください
 2. ボタンを押してください。 
- >> 設定はお気に入りとして保存され、の下に表示されます。追加した時点にしたがって時系列的に並べ替えられます。

13.2 表示

1. ボタンを押してください。 
2. ボタンを押してください。  表示

13.2.1 言語

ここではユーザーインターフェースの言語を変更できます。

1. ボタンを押してください。言語 
 2. 希望の言語を選択してください。
- >> ユーザーインターフェースの言語がすぐに変更されます。合計57言語から選択できます。

13.2.2 日付と時間

ここでは以下の設定を変更できます。

- 日付 
- 時刻 
- 24h/12hの切り替え 

日付

1. ボタンを押してください。 日付
 - > カレンダーが表示されます。
 2. 希望の日付を選択してください
- >> この日付が自動的に適用されます。

時刻

1. ボタンを押してください。📅時刻
> 時刻が表示されます。
2. 時刻を押してください。
3. 希望の時刻を設定してください。
>> この時刻が自動的に適用されます。

24h/12hの切り替え

1. 12時間制に設定する場合は**12**を、24時間制に設定する場合は**24**を選択します。

ConnectedCooking

ConnectedCookingを介して時刻を自動的に同期させることも可能です。

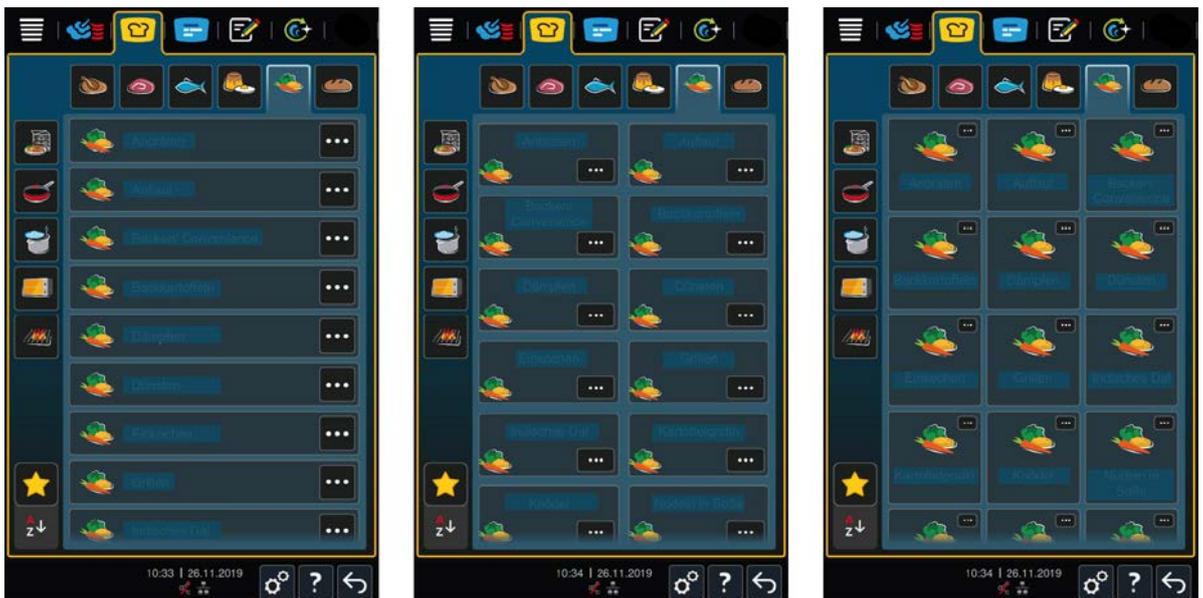
1. ボタンを押してください。⚙️
2. ボタンを押してください。🔗 ConnectedCooking
3. **自動時刻同期**の隣にある以下のボタンを押してください：**オン**

13.2.3 温度の単位

ここでは温度を°Cまたは°Fで表示するかを設定できます。

13.2.4 プログラム表示

ここでは、iCookingSuiteおよびプログラミングモードで、スマートな調理パスを1列、2列、または3列で表示するかを設定できます。



1. ボタンを押してください。☰ プログラム表示
2. ☰1列、☷2列、または☶3列から選択します。
>> 選択はすぐに適用されます。

13.3 照明

1. ボタンを押してください。⚙️
2. ボタンを押してください。💡 照明

13.3.1 ディスプレイの明度

ここでは、ディスプレイの輝度を0~100%の段階で調整できます。

1. ボタンを押してください。🌞 ディスプレイの明度

2. 目盛り上で希望の値を選択するか、ジョグダイヤルで設定します。

>> ディスプレイの輝度がすぐに調整されます。

自動減光

1. ボタンを押してください。  **自動減光**

>> これで、自動減光機能のオン / オフを切り替えることができます。

x 分後に減光

1. ボタンを押してください。  **x 分後に減光**

>> これで、何分後に自動減光機能を起動するかを設定できます。

庫内最大輝度

1. ボタンを押してください。  **最大庫内照度**

>> ここでは、庫内の照度を0~100%の段階で調整できます。

スクリーンセーバー

1. ボタンを押してください。  **スクリーンセーバー**

>> スクリーンセーバーをオンまたはオフにできます。

x 分後にスクリーンセーバーを起動

1. ボタンを押してください。  **x 分後にスクリーンセーバーを起動**

>> これで、何分後にスクリーンセーバーを起動するかを設定できます。

13.4 音

1. ボタンを押してください。 

2. ボタンを押してください。  **音**

13.4.1 マスターボリューム

ここでは、ユニットのマスターボリュームを0~100%の段階で調整できます。

1. ボタンを押してください。  **マスターボリューム**

2. 目盛り上で希望の値を選択してください。

>> マスターボリュームがすぐに調整されます。

13.4.2 投入・作業リクエスト

ここでは、ユニットに投入するとき、または作業をリクエストされたときに、どのトーンまたはメロディーを鳴らすかを設定できます。25種類から選択できます。

1. ボタンを押してください。  **投入/運転リクエスト**

2. ボタンを押してください。  **トーン**

3. 希望するトーンを押してください。

> トーンが鳴ります。

4. トーンを切りたい場合は、以下のボタンを押してください。 **オフ**

5. 概要に戻るには、アイコンバーで  を押します。

6. ユニットに投入されるか、アクションが確認されるまで音を鳴らしたい場合は、以下のボタンを押してください。  **連続再生オン**

7. 特定の時間だけ音を鳴らしたい場合は、以下のボタンを押してください。  **連続再生オフ**

> エリア  **トーンの長さ**がアクティブになります。

8. 時間を0~180秒で設定します。

9. 設定を適用するには、アイコンバーにある以下のボタンを押してください。 

>> 概要に戻ります。

13.4.3 プログラムステップ終了

ここでは、プログラムステップが終了したときにどのトーンまたはメロディーを鳴らすかを設定できます。37種類から選択できます。

1. ボタンを押してください。  プログラムステップ終了
2. ボタンを押してください。  トーン
3. 希望するトーンを押してください。
 - > トーンが鳴ります。
4. トーンを切りたい場合は、以下のボタンを押してください。 **オフ**
5. 概要に戻るには、アイコンバーで  を押します。
6. ユニットに投入されるか、アクションが確認されるまで音を鳴らしたい場合は、以下のボタンを押してください。  連続再生オン
7. 特定の時間だけ音を鳴らしたい場合は、以下のボタンを押してください。  連続再生オフ
 - > エリア  トーンの長さがアクティブになります。
8. 時間を0~180秒で設定します。
9. 設定を適用するには、アイコンバーにある以下のボタンを押してください。 
- >> 概要に戻ります。

13.4.4 調理時間の終了

ここでは、調理時間が終了したときにどのトーンまたはメロディーを鳴らすかを設定できます。37種類から選択できます。

1. ボタンを押してください。  調理時間の終了
2. ボタンを押してください。  トーン
3. 希望するトーンを押してください。
 - > トーンが鳴ります。
4. トーンを切りたい場合は、以下のボタンを押してください。 **オフ**
5. 概要に戻るには、アイコンバーで  を押します。
6. ユニットに投入されるか、アクションが確認されるまで音を鳴らしたい場合は、以下のボタンを押してください。  連続再生オン
7. 特定の時間だけ音を鳴らしたい場合は、以下のボタンを押してください。  連続再生オフ
 - > エリア  トーンの長さがアクティブになります。
8. 時間を0~180秒で設定します。
9. 設定を適用するには、アイコンバーにある以下のボタンを押してください。 
- >> 概要に戻ります。

13.4.5 調理中断/エラー

ここでは、エラーが検出されたときにどのトーンまたはメロディーを鳴らすかを設定できます。37種類から選択できます。

1. ボタンを押してください。  調理中断/エラー
2. 希望するトーンを押してください。
 - > トーンが鳴ります。
3. トーンを切りたい場合は、以下のボタンを押してください。 **オフ**
4. 概要に戻るには、アイコンバーで  を押します。
5. ユニットに投入されるか、アクションが確認されるまで音を鳴らしたい場合は、以下のボタンを押してください。  連続再生オン
6. 特定の時間だけ音を鳴らしたい場合は、以下のボタンを押してください。  連続再生オフ
 - > エリア  トーンの長さがアクティブになります。